

トークイベント『センス・オブ・ワンダー』 **3**

# 海を渡った大工道具

## 工部大学校の教材となった西洋の匠の道具達



衣喰住之内家職幼絵解ノ図(鉋削・鋸引・抜穴)部分, 国輝(二代), 人間文化研究機構国文学研究資料館所蔵

【講師】角田 真弓 氏  
建築学専攻 技術専門職員

【会場】工2号館図書室 | 工学部 2号館 5階

【定員等】50名、先着順、申込不要、参加費無料

【主催】東京大学工学部・工学系研究科、  
情報理工学系研究科

【共催】駒場博物館 【協力】東京大学文書館

【問合せ】工学・情報理工学図書館

03-5841-6731, kogaku2@lib.u-tokyo.ac.jp

# 2017.6.29【木】

12:20-13:20 | 受付開始 11:50

工2号館図書室で展示されている大工道具は、工部大学校設立に尽力した山尾庸三が教材として明治期にヨーロッパから持ち帰ったものです。これらの大工道具が当時の建築に直接影響を与えることはありませんでしたが、道具の違いを通して西洋と日本の建築を比較してみることは非常に大切な視点です。今回のトークイベントでは、建築学専攻で建築史を研究されている角田真弓さんをお招きし、日本の伝統的な大工道具と西洋の大工道具の違いや共通点などについてお話いただきます。

※障害等のため設備・情報保障等の配慮が必要な場合は、あらかじめご連絡ください。